

都001	項目名	路線バス運行継続緊急支援事業費(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)
------	-----	--

予算書項目	地方バス路線維持対策費	ページ	33
-------	-------------	-----	----

所 属 名	都市整備部 交通政策課
-------	----------------

年度	R3
----	----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	交通対策費

(単位：千円)

補正前額	0
------	---

要求額	109,000
-----	---------

総務部長段階査定額	109,000
-----------	---------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

市長段階査定額	109,000
---------	---------

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	67,580
地方債	0
その他	0
一般財源	41,420
計	109,000

行財政改革課処理欄
-----------

事業の概要
【問合せ先】 交通政策課 0857-30-8326
【11次総の施策体系】 2404
【事業の経過及び背景】 路線バス事業は、収益率の低い事業であるが、公益性・公共性の高さから、国や地方自治体による財政支援、また、高速バスや貸切バス等の収益を基にした事業者の内部補助により支えられている。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響によりバスの利用は低迷しており、依然として事業者の経営は危機的な状況となっている。
【事業の目的及び効果】 路線バス運行事業者を支援することで、市民生活に必要不可欠な生活インフラである路線バスの維持・存続を図る。
【事業の内容】 路線バス事業者に対して、事業存続のための補助金を交付する。 ・補助対象者：路線バス運行事業者（日ノ丸自動車、日本交通） ・補助金額：1,000千円/系統（日ノ丸自動車：81系統、日本交通：28系統）

都002	項目名	住民参画型バス停上屋整備事業補助金
------	-----	-------------------

予算書項目	生活交通確保対策事業費	ページ	33
-------	-------------	-----	----

所 属 名	都市整備部 交通政策課
-------	----------------

年度	R3
----	----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	交通対策費

(単位：千円)

補正前額	868
------	-----

要求額	1,320
-----	-------

総務部長段階査定額	1,320
-----------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

市長段階査定額	1,320
---------	-------

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,320
計	1,320

行財政改革課処理欄
-----------

事業の概要
【問合せ先】 交通政策課 0857-30-8326
【11次総の施策体系】 2404
【事業の経過及び背景】 自治会等が主体となってバス停上屋整備の計画から管理まで実施することにより、地域の実情にあったバス停上屋を整備し、もって地域福祉の向上及び公共交通の利用促進に資することを目的として、平成16年度から実施している。
【事業の目的及び効果】 バス停上屋の整備支援を行うことで、バス利用環境の改善及び利用促進を図る。
【事業の内容】 自治会等が整備するバス停上屋に対する事業費補助（負担割合：地元1/3、市2/3） ・補助金交付対象者：吉岡温泉町自治会 ・整備対象バス停：吉岡温泉口、吉岡中央の2か所 ・市補助金額：1,320千円（総事業費：1,980千円）

都003	項目名	未来型地域交通連携確保事業費(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)		
予算書項目	生活交通確保対策事業費	ページ	33	所 属 名
年度	R3	都市整備部 交通政策課		
会計名	一般会計			
款	総務費			
項	総務管理費			
目	交通対策費			
(単位：千円)				
補正前額	0			
要求額	22,080			
総務部長段階査定額	22,080	その他財源の内訳		
市長段階査定額	22,080	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	補正額			
財源内訳	国・県支出金	13,689		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	8,391		
	計	22,080		
行財政改革課処理欄				
<b>事業の概要</b>				
【問合せ先】 交通政策課 0857-30-8326				
【11次総の施策体系】 2404				
【事業の経過及び背景】 運転者不足が深刻化しており、持続可能な地域交通の確保が急務となっている。こうした状況の中、自動運転技術を活用した移動サービスが注目されており、全国各地で実証運行が開始されている。本市においても、令和3年10月に「鳥取市次世代モビリティ推進会議」を立ち上げ、路線バスやタクシーなど公共交通の自動運転化に向けた取組を推進している。				
【事業の目的及び効果】 公共交通の自動運転化を図り、持続可能な利便性の高い地域交通を確保する。				
【事業の内容】 自動運転バスの実証運行を実施するバス事業者に対して、実証運行に係る経費を補助する。				
<実証運行の概要>				
・事業主体：日ノ丸自動車(株)				
・実施エリア：鳥取砂丘				
・実施時期：令和4年2月下旬～3月上旬(2週間程度)				
・実施体制：日ノ丸自動車(株)、日本交通(株)、WILLER(株)、(一社)麒麟のまち観光局など				
・総事業費：31,080千円 (内訳：事業者負担9,000千円(国庫補助金)、市補助金22,080千円)				

都004	項目名	治水対策事業費		
予算書項目	治水対策事業費	ページ	65	所 属 名
年度	R3	都市整備部 都市環境課		
会計名	一般会計			
款	土木費			
項	河川費			
目	河川総務費			
(単位：千円)				
補正前額	74,860			
要求額	24,889			
総務部長段階査定額	24,889	その他財源の内訳		
市長段階査定額	24,889	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	補正額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	24,889		
	計	24,889		
行財政改革課処理欄				
<b>事業の概要</b>				
【問合せ先】 河川係 0857-30-8343				
【11次総の施策体系】 2401				
【事業の経過及び背景】 梅雨・台風等に伴う豪雨時、土地の低い地域では雨水を河川等へ自然流出することができず、家屋等の浸水・冠水被害が発生する。				
【事業の目的及び効果】 豪雨時等において、常設排水ポンプの稼働及び一時的に設置する緊急排水ポンプの稼働により、低地における浸水被害を防ぎ市民の安全を確保する。				
【事業の内容】				
・洗井川排水機場5号ポンプ施設充電設備修繕 1,300千円				
・緊急排水ポンプ設置委託業務(菖蒲地区など19か所) 22,939千円				
・排水ポンプ等の光熱水費実績見込みによる増 650千円				